

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 540 号	氏名	Phonepadith Xangsayarath
学位審査委員		主 査	中込 治
		副 査	平山 謙二
		副 査	濱野真二郎
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は熱帯熱マラリア原虫の多型抗原 surface-associated interspersed gene 4.1 (SURFIN_{4.1})と cytoadherence linked asexual gene (Clag)を標的とするワクチン開発の基盤情報として、1) SURFIN_{4.1}に対する選択圧の種類、および 2) SURFIN_{4.1}と Clag の多型頻度分布の経時的な変化を明らかにしようとしたものであり、研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 1988年-1989年と2003年に得た熱帯熱マラリア原虫DNAを用い、1) 複数のテストで選択圧の検討を行い、また 2) 多型頻度分布の経時的変化は、まず中立遺伝子の型頻度分布を両群間で解析した上で、標的分子群について解析を行っており、これら研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、1) SURFIN_{4.1}に対する正の選択が検出され、宿主免疫標的である可能性が示された。また、2) 一部の例外を除き、SURFIN_{4.1}と Clag の多型部位の型頻度分布は両群間で変わらず、自然状態では、これらの多型抗原は14年間にわたり変化しないことが示唆された。上記のように解析・考察ともに適切になされている。</p> <p>以上のように本論文はマラリア原虫抗原の分子疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			